中小企業ぐんま

新年挨拶
業界・組合リーダーの年頭所感
中小企業等協同組合法施行70周年及び
中小企業団体の組織に関する法律施行60周年記念式典

VOL.699
2020. 1

群馬県中小企業団体中央会

中央会行事予定

●新春講演会・新年会
１月23日（木）
前橋商工会議所会館

●群馬で就職！合同企業説明会
３月11日（水）・12日（木）
ヤマダグリーンドーム前橋

CONTENTS 2020 1 January VOL.699

特集Ⅰ　新年挨拶 …… 2

群馬県中小企業団体中央会会長　吉田　勝彦

群馬県知事　山本　一太

全国中小企業団体中央会会長　森　洋

株式会社商工組合中央金庫前橋支店長　佐藤　裕喜

特集Ⅱ　業界・組合リーダーの年頭所感 …… 6

特集Ⅲ　新年名刺広告 …… 14

中小企業等協同組合法施行70周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行60周年記念式典 …… 20

情報連絡員だより …… 21

インフォメーション …… 22

めいど in 群馬

組合で生産する「菌床」で栽培した「椎茸」

～ 菌床栽培による風味豊かな「きのこ」 ～

〈表紙の写真〉

お正月のこの時期、おせち料理の煮しめや雑煮の具として、また、寒い時期の鍋料理の具材などにも欠かせない「きのこ」を食された方も多いのではないでしょうか？

そこで今月号は、おいしい空気と水の郷・妙義山の麓で「きのこ」の「菌床」を共同生産している群馬きのこ生産協同組合と、組合員でその「菌床」を使い様々な「きのこ(表紙写真)」を栽培している有限会社妙義ナバファームをご紹介する。

同組合は、2015年に椎茸菌床ブロックの生産施設の設置・運営、椎茸菌床ブロックの共同生産を主な目的に設立。現在では１日当たり１万個の「菌床」を共同生産し、組合員に供給している。今回お話を伺った組合の理事で㈲妙義ナバファーム・黛　紀昭社長によると、１日１万個でも足りないくらいとのこと。

３～４ヶ月のサイクルで「菌床」を交換し、その間１個の「菌床」から多いもので400ｇの「きのこ」を収穫、組合員５社では１日当たり４～５ｔの「きのこ」を関東エリアを中心に出荷している。

㈲妙義ナバファームでは、表紙写真にある「椎茸」「舞茸」「木耳（きくらげ）」を中心に製造・販売しており、同社の下記ホームページにて「食卓の主役を張ることができる美味しいきのこ」として「きのこレシピ」を紹介している。また、同ＨＰからお取り寄せすることも可能となっており、是非一度ご賞味なさってみてはいかがでしょうか？

群馬きのこ生産協同組合
有限会社妙義ナバファーム
安中市松井田町五料3907-26　☎027-393-5630
http://www.navafarm.com